

Multilingual Electronic Newsletter

多言語メールマガジン

かごしま南の風便り



Kagoshima Southern Wind Tidings

VOL. 175

▽トピックス

[1 国際交流員のコラム](#)

太平洋上に光り輝く深い緑の宝石:奄美大島(前編)

ー 鹿児島県国際交流員 スノーデン・ジョセフ(イギリス出身)

[2 知事の動き](#)

韓国・全羅北道 金寛永知事が訪問されました(12月16日)

薩摩スチューデント派遣事業参加者が訪問されました(12月26日)

[3 かごしまの国際交流 A-Z](#)

台湾・屏東県「2022屏東クリスマス」で鹿児島をPR

[4 観光かごしま旬の情報](#)

大根やぐら(南九州市)

●太平洋上に光り輝く深い緑の宝石：奄美大島●

ー 鹿児島県国際交流員 スノーデン・ジョセフ（イギリス出身）

鹿児島空港から離陸し、1時間ほど飛行機で南の方向へ行けば、やっと見えてきます。無限の大海原から突出している深い緑の宝石、奄美大島。

甘い風味を持つ黒糖焼酎や世界三大織物の一つと言われる大島紬の本場だけではなく、奄美大島は独特な生態系や生物多様性を持ち、徳之島、沖縄島北部、そして西表島とともに、2021年に世界自然遺産に登録されました。私は2022年12月中旬に奄美大島を訪れる機会を得る事ができ、身をもって奄美大島の魅力を経験することができました。このコラムでは、私が訪問したスポットの印象についてご紹介します。



奄美大島が見えてきました！

## (1) 奄美パーク

奄美空港からたった5分離れた場所に、必見の奄美パークがあります。奄美群島の観光拠点施設として、「海の道」、「島の道」、「森の道」など様々な展示ゾーンを通りながら奄美について学ぶことができます。画像、模型、そしてインタラクティブな映像などを組み合わせた展示であり、様々な形で奄美の文化や自然環境を紹介してくれます。なお、展示品前のQRコードを読み取ることで、多言語で展示品の説明を受けることができます。

総合展示ホールのすぐ近くにあるイベント広場では子供向けのクリスマスパーティー、ファッションショーなど様々なイベントが開かれます。



総合展示ホール



イベント広場

パーク内にある田中一村記念美術館も見逃せません。田中一村は50代になってから奄美大島に移住し、アカショウビンなど奄美大島を代表する野鳥を独特なスタイルで描きました。田中一村記念美術館は作品数が400点以上あり、季節ごとに出展されている作品が変わります。



田中一村像

個人的に言えば、奄美パークの展望台からの眺めが特に印象に残っています。奄美での冒険を始めるには最適な場所だと思いました。



奄美パークの展望台

## (2) 原ハブ屋

奄美大島はハブという毒蛇が有名であり、島内では10万匹が生息していると言われています。この事実を頭の片隅に置きつつ、私は次の目的地に向かいました。

原ハブ屋は1948年に創業したハブの専門店であり、独特なハブの加工品を販売している上に、1日3回ハブのショーを行っています。様々なブランドとコラボをし、高級感あふれる商品が揃っています。

ハブのショーはとても興味深い体験でした。ショーの司会、原武広さんがユーモアを交えながら様々な蛇を目の前で紹介し、ハブ捕りも実演してくれました。ショーは日本語で行われるものの、英語でのショーガイド（説明書）もあります。

私を特に驚かせたのは原さんのある発言でした。

「ハブは森の守り神なんですよ。」

この考え方は原さんにとどまらず、私と話してくれた多くの島民が持っているようでした。無論危ない動物とは知っていても、島の生態系を守る存在として島民はハブを大切にしており、ハブに対して尊敬を表しています。



私は本当に蛇を持ったのか…  
それとも錯覚なのか…



ハブのショーの司会、原さん



森の守り神、ハブ

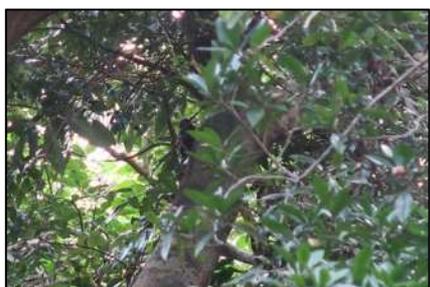
### (3) 奄美自然観察の森

海岸から離れ、龍郷町の森へ向かうと別世界に入ります。打ち寄せる波の音に代わり木の葉のざわめきやルリカケスの鳴き声が響き渡り、何千年も前の原生林に足を踏み入れたかのような感じがします。ここは、奄美自然観察の森です。

森の館に入ると、奄美大島の独特な生態系を紹介する展示室があります。1～2月にヒカンザクラ、夏に蛍など、四季折々の魅力について楽しく学べます。



森の館



キツキ



アコウの木



イモリ

展示室を一周してから本格的な森に入ると、自然の中にある奄美大島の動植物を見ることができました。森に入った瞬間、ガイドさんから「森は五感で楽しむ場所です。」と言われました。

ガイドさんにご案内をいただいたおかげで、野鳥の鳴き声を聞き、「締め殺し木」とも呼ばれるアコウの木の不思議な形を視察し、林床に落ちていたシイの実を食べることもできました。最後に、展望台まで登り、そこに絶景が待っていました。展望台までの道はバリアフリーであるため、誰でも楽しめる場所です。



展望台からの眺め

#### (4) 奄美大島の居酒屋

空が暗くなり、奄美での初日が終わるところでしたが、ホテルに戻る前に私は居酒屋に立ち寄りしました。

長命草の天ぷらや油そうめんなどの島料理をいただきましたが、鹿児島本土の料理と同じく、とてもおいしかったです。奄美大島を代表する黒糖焼酎も数種類、水割り・ソーダ割りの異なる飲み方で試飲することができ、その飲みやすさに驚きました。

そして、初日のハイライトとして本格的な島唄を聞くことができました。最初は、ゆっくりと島のメロディーを聞き、ただその雰囲気にはまりましたが、どんどん居酒屋のお客さんが盛り上がり、最後に皆さん（私も含めて）と一緒に「どっこい、どっこい」と歌い、踊りました。その瞬間は、一生忘れないと思います。

(今回はここまで！

コラムの続きは176号で掲載します。)



黒糖焼酎の瓶



食事もお酒も素晴らしい夜でした

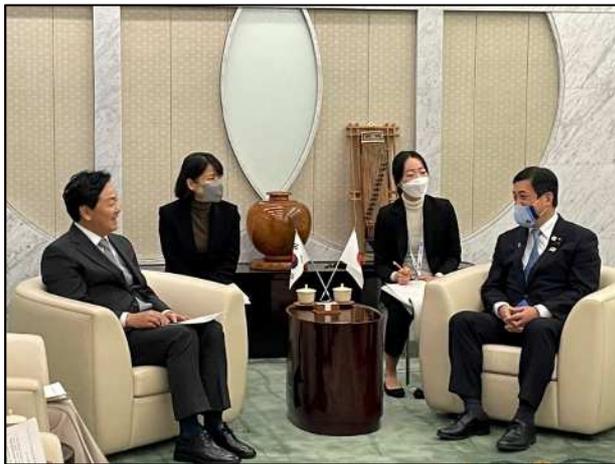
●韓国・全羅北道 金寛永知事が訪問されました●

12月16日、本県と30年以上交流を行っている韓国・全羅北道の金寛永（キム・クワンヨン）知事が県庁を表敬訪問しました。

また、翌17日には、全羅北道の伝統工芸品等を展示する沈壽官名誉総領事館全羅北道展示記念式が沈壽官窯（日置市）で開催され、塩田知事も来賓として参席しました。

塩田知事からは、沈壽官窯について、約420年前からここ鹿児島で薩摩焼の窯の火を守り続けており、沈家のゆかりの地の1つである全羅北道との交流にも尽力いただいていることを紹介させていただきました。

記念式典では、テープカットに続き、韓国の伝統的な紙「韓紙」をつかったタンスや漆の食器などを見て回りました。



左：金寛永知事/右：塩田知事



記念式の様子（日置市・沈壽官窯）

●薩摩スチューデント派遣事業参加者が訪問されました●

12月26日、8月に13日間、英国教育体験プログラム（オンライン）に参加した県内の高校生4名が、活動報告のため塩田知事を訪問しました。

参加した生徒たちは、「世界の最先端の技術の講義を英語で受けることができ、モチベーションの向上に繋がった」、「自分の夢に近づけるような機会となった」などと話していました。

また、塩田知事との懇談の中で、時差がある中での講義を受けること、オンラインでのディスカッション、プログラムで扱われた英語の難しさなどについてお話がありました。

参加した高校生の皆さんが、今回の経験を糧に、将来、鹿児島や日本のために活躍されることを期待しています。



表敬の様子

●台湾・屏東県「2022屏東クリスマス」で鹿児島をPR●

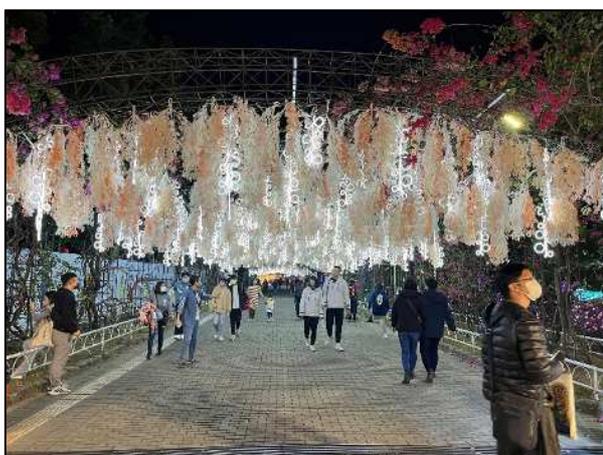


12月23日から25日までの3日間、台湾屏東県の屏東公園で開催された「2022屏東クリスマス」に鹿児島ブースを出展し、観光パンフレットやノベルティを配布しました。

今回、屏東県から鹿児島県に出展の誘いがあり、台湾における本県の認知度向上を図り、コロナ後の誘客等に繋げていくため、職員が渡航しブースで鹿児島県のPR活動を行いました。

毎年、クリスマス時期に開催されるイベントで、2022年のテーマは「冰雪世界」。

ステージイベントには屏東県の潘知事も参加し、期間中は1日あたり5,000人以上が来場する盛況ぶりでした。



左：鹿児島PRブースの様子 / 右：会場内のイルミネーション

●大根やぐら（南九州市）●



今日の写真は、南九州市の冬の風物詩「大根やぐら」です！

毎年 12 月から 1 月頃まで南九州市に出現する「大根やぐら」。広大な畑作地帯に、たくさん  
の大根が干されている様子は圧巻です。

Photo by @joe\_gram315 さん (Instagram より)

素敵な写真、ありがとうございました！



